

The background of the slide is a composite image. On the left, there is a large blue and yellow triangular graphic. The main background is an aerial photograph showing a coastal town with a mix of residential buildings and green fields, situated near a body of water. To the right, a large, green, conical mountain rises, partially shrouded in clouds. The text is overlaid on this scene.

令和7年度 火山ジュニアマイスタースクール

公益財団法人 雲仙岳災害記念財団

火山ジュニアマイスタースクールについて

【背景・目的】

- 雲仙・普賢岳噴火災害の被災地では、災害を知らない世代が増える中、災害の記憶を語り継いでいくが課題となっている。
- 多発する自然災害から身を守るには、日頃から自然に興味・関心を高め、科学的に調べたり、いざという時に自ら判断・行動できる力が必要である。
- そこで、島原半島の将来の地域防災を担う若者を育成し、地域の防災力を高めることを目的として開催した。



過去の講座の様子。
専門家から火山・防災・
ジオパークについての講
義を受けている。



実施計画

火山やジオパークについての教室に参加することで
「火山ジュニアマイスター」に認定！

スケジュール

- 4/27 (日) 第1回「雲仙火山をめぐる調査隊」
火山災害や火山の魅力、人との関わりを探ろう
- 6/22 (日) 第2回「なりきりガイド体験」
学んだことを発表するスキルを学ぼう
- 7/27 (日) 第3回「いざ、ガイド!!」
発表しまとめて自由研究にしよう
- 10/19 (日) 第4回「サイクリングジオツアー」
海を見ながら自転車旅に出かけよう
- 11/23 (日) 第5回「マイスター認定チャレンジ!!」
これまで学んだことをPRしよう

対象：小学4～6年と中学生

チャレンジしたこと

1

従来の受け身で
聞くだけでなく
自分で発信する
力を育てる

2

地域の魅力を
伝える教材を
作る

3

学び終わった後
語り部活動を
続けられる
しくみを作る

講座の目的と流れ

目的と流れ

第5回 「マイスター認定チャレンジ!!」

地域を超えた交流と発表

第4回 「サイクリングジオツアー」

自転車旅で大地と人の関係を学ぶ

第3回 「いざ、ガイド!!」

島原防災塾で参加する親子に発表

第2回 「なりきりガイド体験」

発表のスキルの養成

第1回 「雲仙火山をめぐる調査隊」

噴火災害や火山の成り立ちを探る

育成のねらい

次世代語り部として
自信と誇りを育む

新しい発見に喜びを感じ
主体性を育む

災害を知らない若い世代へ
災害伝承・防災教育

学んだ知識やスキルで
分かりやすく伝える

火山の魅力や人との関わり
を学ぶ

成果

地域探求

成果

行動

知識／スキル

第1回「雲仙火山をめぐる調査隊」(4/27)



これまで自然にあまり興味はなかったけど楽しい！もっと深く知りたい！と思った。



第2回「なりきりガイド体験」(6/22)



まわりに人がいるとうまく説明できな
かったけど、何とかメモをみながら声
を出せたのは良かったかなと思った。

第3回「いざ、ガイド!!」(7/27)

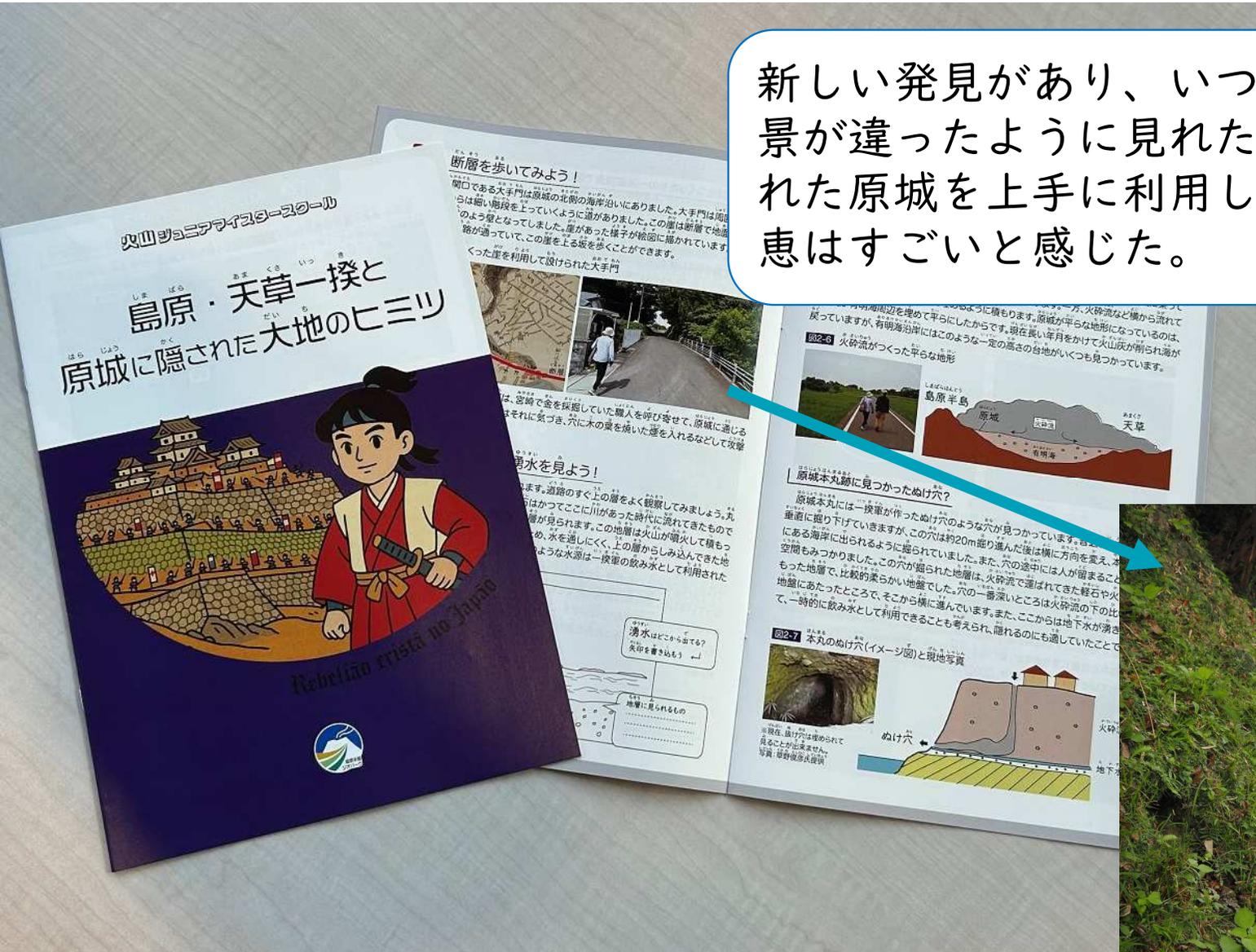


ガイドは緊張したけど少しずつ慣れて
自分に自信ができました

発表本番

第4回「サイクリングジオツアー」(10/19)





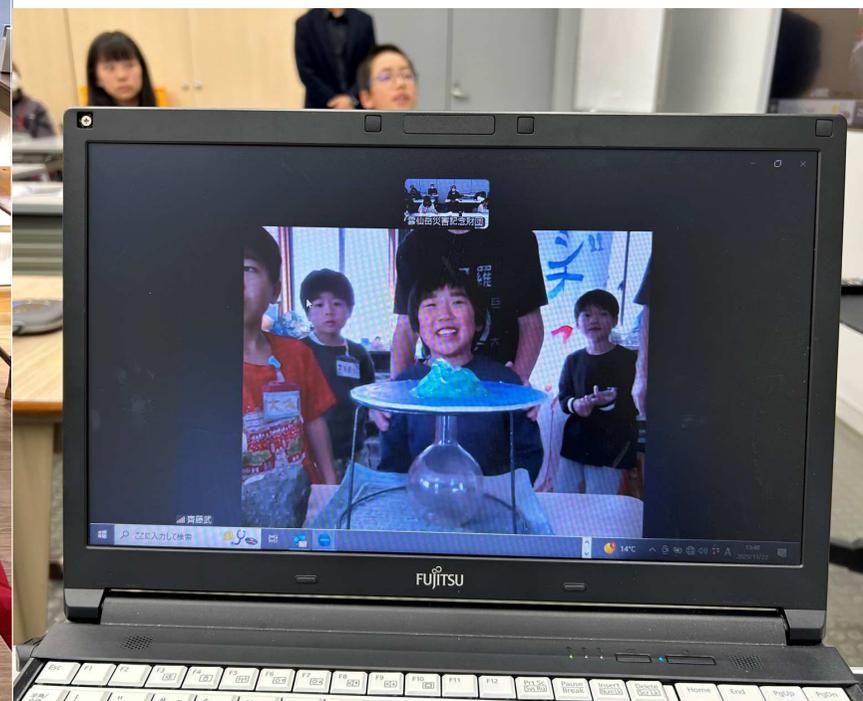
新しい発見があり、いつも見ていた風景が違ったように見れた。地震で作られた原城を上手に利用した昔の人の知恵はすごいと感じた。





第5回「マイスター認定チャレンジ」(11/23)

伊豆半島にもジオパークや近くに活火山があることを知れて良かった。私たちの活動に興味を持ってくれてとても嬉しかった。





原城を観光する方に手に取って
もらおうと思います。



[雲仙岳火山モンスター]
災害モンスター研究所さま提供

学んだことをカードに
まとめました！





本年、8名を火山ジュニアマイスターに認定！

チャレンジへの評価（1）

従来の受け身で聞くだけでなく自分で発信する力を育てる

参加者の発表態度・能力は、活動を通じて大きく変化しました。

【当初の様子】

メモを見ながら、うつむき加減で話す。

自信なさそうな話し方。声は小さく、早いペース。



【変化後の様子】

相手に伝わる立ち位置やフリップの見せ方、話すペースを自分で工夫する。

相手に目を配りながら、堂々と話す。

調べた内容を自分の言葉で練り直した原稿を用意する。



教えられる側から教える側へ ～地域での災害伝承の波及効果～



⇒火山ジュニアが学びのリーダーとなり、地域防災講座の受け手の子どもたちは火山や防災を身近なテーマとして、自由研究に繋がられた。

雲仙普賢岳のように高い山が形成された。

火山噴火の最初は固まった石は黒く、徐々に白く変わっていく

6 調べて分かったこと
島原半島は火山活動によってできた土地であり、1997年には普賢岳が噴火して大きな被害があった。火山からはさまざまな種類の岩石が生まれ、危険もある一方で温泉などの恵みをもたらしている。

7 感想
火山は災害を引き起こす一方で、温泉や豊かな自然などの恵みをもたらしていると感じた。自然と共に安全に暮らすためには、火山の特徴や危険性をよく知り、防災意識を高めていくことが大切。



◎ 『焼山』 ～杉谷地区にあるジオパーク～

島原市内小学6年生参加者

● きっかけ
ぼくは、4年生の時に「火山ジュニアマイスタースクール」に参加し、はじめて「焼山」に登りました。それから、何度か「焼山」に登り、そのたびに発見することがあったので、夏休みにまとめようと思った。

● 研究方法
現地へ行って、たこと聞いたこと、調べたことをまとめた。

★ 『焼山』は 標高約420m、1792年に普賢岳が噴火してできた溶岩でできた山

1 古焼溶岩...1663年の噴火で形成 3. 焼山の山頂 ～木霊スポット～

2 新焼溶岩...1792年の噴火で形成 (島原半島博物館の年)

4. 焼山湧水 ⇒ 島原湧水群の1つ

1792年の普賢岳の噴火による島原大火で自然に湧き出したと言われている。平成の噴火の前はこの

一枚岩
2.2に登山記録
山頂→着目地 平成新山
海側→島原城 有明寺 熊野原
真下 → 平成噴火の爪痕

自由研究の一例

(ジオパーク)
噴火災害を乗り越えた
森の再生を学ぼうに
参加して



島原市内小学4年生参加者

⑥

←この写真は火砕流でなぎ倒された木です。ほくは、きもんに思いました。なせなら、今、ふけんだけは緑であふれています。なのにこの写真は、緑がありません。なせでしょう？




この絵は、江戸時代の人がかいた絵です。この時のマグマは、ドロドロした物で、約50日間かけて、ろくろをゆっくりと流れたそう。溶岩を見ようと多くの火かきお酒を持って見物に行っていたそうです。雲仙ふげんだけは昔から何度も噴火した火山です。

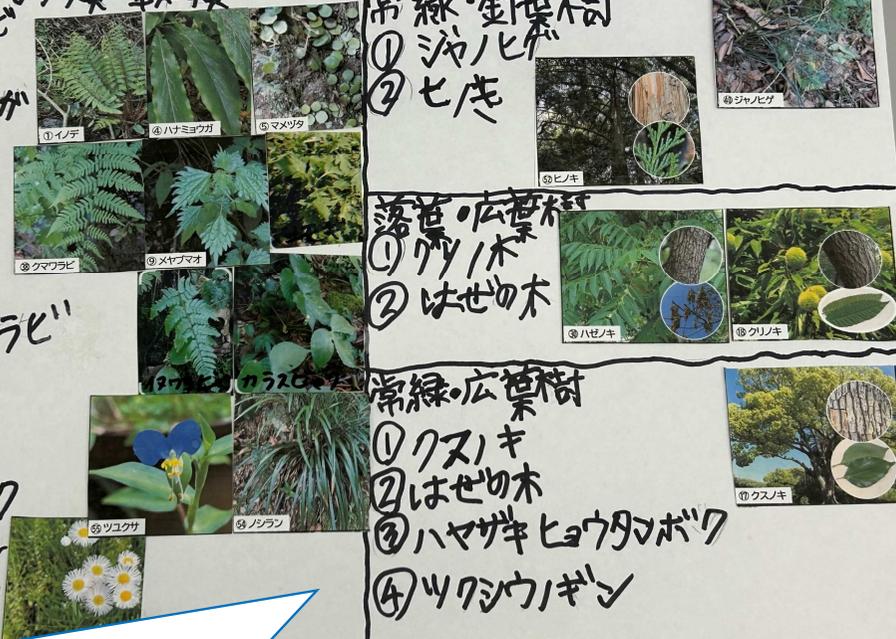
⑥ 土壌衣類・シダ類・草本類

① クマウラビ
② イノデ
③ ハナシロウガ
④ ツユクサ
⑤ メヤブクオ
⑥ クマウラビ
⑦ マメヅタ
⑧ ハツガネウラビ
⑨ ハセの木
⑩ ノシラン
⑪ ツモギ
⑫ カラスビヤク
⑬ ヒメジョオン
⑭ イヌウラビ

常緑・金葉樹
① シヤノヒゲ
② ヒメギ

落葉・広葉樹
① クヌギ
② はせの木

常緑・広葉樹
① クヌギ
② はせの木
③ ハマザキヒョウタンボク
④ ツクシウギン



この発表では「森の力だけで再生した場所（焼山）」と「噴火後に人の手で育てられた場所（垂木台地）」を比較して、森の再生のちがいを研究しました！

チャレンジへの総合評価（2）

地域の魅力を伝える教材をつくる

地域学習テキストと観光カードを作成し、地元へ発信することに繋がられた



【教材作成】 地域の散策テキストを作成。総合学習でも使いやすい工夫を凝らし、地元小学校へ提供。



【情報発信】 子どもたちの視点で選んだ「おすすめスポット」を観光カード化した。



【地域貢献】 完成したカードを観光施設に配布し、地域の魅力発信に繋がられた。



チャレンジへの総合評価（3）

学び終わった後、語り部の活動を続けられるしくみを作る

関係団体と連携して火山ジュニアマイスターの継続的な関わりを設定できた

【環境整備】 地域の魅力を発信したいという子どもたちの想いを、ジオパークガイドが温かく受け入れ、一緒に活動できる場を整えてくれることになった



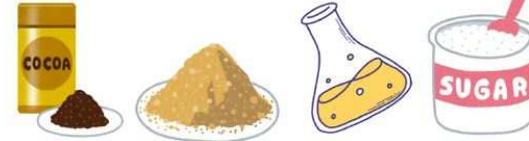
今後の予定



参加者募集中

国見冬の子ども教室

ふくらむ・ずれる・ゆれる！
実験で楽しむ！
大地（ジオ）の講座



むくむくふくらむ！
溶岩ドームをつくってみよう。
甘い地層が動く！？
ココアパウダーと砂糖で
地層をつくろう。



小学生以上(保護者・家族同伴可) 定員20名 材料代500円

1/24 (土)
13:30-15:30
国見農村環境改善センター
大集会室

申込・問合せ
雲仙市教育委員会国見駐在
☎0957-78-1100

申込みは
⇒ 

⇒ジオパークこどもガイドとして今後の活躍が期待される